

# 予算編成の基本的考え方

## 練馬区独立70周年 未来に向けた夢のあるまちづくりを推進

### 平成29年度一般会計予算額 2,514億7,723万円

#### 編成のポイント

- (1) 「みどりの風吹くまちビジョン」アクションプランと区政改革計画の取組を積極的に推進
- (2) 的確な見通しを踏まえた持続可能な財政運営を強化

区が進める「改革ねりま」の目的は、時代を先取りした、しかも持続可能な政策を実行することにあります。その実現に向けて、平成27年3月に「みどりの風吹くまちビジョン」を策定し、戦略計画を実行に移しました。さらにビジョンを実現する仕組みや態勢を区民の視点から見直すための「区政改革計画」を昨年10月に策定しました。

平成29年度当初予算の編成にあたっては、「みどりの風吹くまちビジョン」に基づくアクションプランおよび区政改革計画の取組を推進することを最優先としました。さらに、計画事業にとどまらず、施策を一層推進する新規・充実事業も積極的に予算化しました。

持続可能な財政運営を堅持するため、歳入面では、事業の実施にあたり、国・都の財源確保に努めました。社会資本形成に資する事業には、世代間の負担の公平を図るため、後年度負担に配慮しつつ、起債の積極的活用を図りました。歳出面では、枠配分予算においてゼロシーリングを徹底し、事業の必要性や効果を検証の上、スクラップアンドビルドに努めました。昨年度の決算において多額の不用額を生じた事業については、要因の分析、計上額の精査を行いました。また、増大する施設の改修改築需要に備えるため、施設整備基金の目標額を定め、その確保に向けた積立金を計上しました。

## ■ 区財政を取り巻く状況、厳しい見通し

わが国の経済情勢は、雇用・所得環境の改善が続いており、各種政策の効果もあって緩やかな回復に向かうことが期待されています。しかし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動に留意する必要があることから、先行きは予断を許しません。なかでもアメリカのトランプ大統領の政策が、現時点では不明確であり、その動向には注視が必要です。

そのようななかで、中長期的にみると区財政も大きな困難に直面しています。歳出面では、少子高齢化が確実に進行するなか、福祉・医療・子育て支援や公共施設の更新など、膨大な需要への対応が求められています。加えて、鉄道空白地域の存在や都市計画道路の整備の遅れなど、練馬区特有の課題も解決を迫られています。一方、歳入面では、いずれ確実に見込まれる生産年齢人口の減少により、税収の減少が懸念されます。また、法人住民税の一部国税化がさらに拡大される予定であるなど、財政運営は、一層厳しさを増す見通しです。